

佛和辞書（幕末明治期）における訳語の変遷

田 中 貞 夫

I. はじめに

我国において、最初の佛語辞書が刊行されたのは、安政元年（1854）のことである。著者はよく知られている様に、村上英俊（1811～90）であり、書名は『三語便覧』である。

『三語便覧』の構成は、「見出し」の邦語に対照させて、三カ国語（仏・英・蘭。後に蘭にかえて独）を配したものである。それ故、一見すると和佛辞書の様な形をとっているが、同書の成立過程から考えれば、必ずしも首肯出来ない。何故なら、この書は、オランダ出版の仏語入門書“Nouvelle méthode familière, à l’usage de ceux qui veulent apprendre la langue française, par Charles Cazelles, d’abord corrigée et augmentée par J. Van Bemmelen, de son vivant maître de pension à leide, revue et corrigée par H. Scheerder. Seizième édition, à Zalt-Bommel, Chez J. Noman et Fils. 1834”を参考にして作られ、原典の仏語（蘭語）の単語に、英俊が邦語を当てたものが大部分だからである⁽¹⁾。

即ち、見方を変えて言うならば、佛語辞書的一种といっても、過言ではあるまい。

本稿では、『三語便覧』を出発点として、『佛語明要』（元治元年、1864）、『官許・佛和辞典』（明治4年、1871）、『佛和辞典』（明治19年、1886）、『佛和辞林』（明治26年、1893）、『佛和曾話大辞典』（明治38年、1905）、そして『増訂・新佛和辞典』（明治42年、1909）を通して、如何に訳語が変化していったのか。そこには、我国フランス学の黎明期における、苦心の跡が見られて、はなはだ興味深い。

II. 佛和辞書一覽

1) 『三語便覧』（本稿では、『三語』と略す。以下同じ。）

この字書⁽²⁾は、黄色表紙、右袋綴の三冊本。縦26センチ×横18.2センチがその寸法であり、題籤には各々、「三語便覧初巻（中・終）」と記されている。紙数は初巻が引2丁、序文2丁、凡例2丁、日録1丁、本文60丁のものである。

見返しには、茂亭村上義茂著、達理堂蔵と書かれている。中巻は初巻と違い、本文のみで63丁、終巻は同じく62丁で構成されている。

同書は25の「部門別」に分類されており、「初巻」は、天文、地理、身体、疾病、家倫、官職、人品、官室、飲食、衣服、器用の11部門。

「中巻」には、兵語、時令、神仏、徳不徳、禽獸、魚虫、草木、果実、金石、医薬、采色、数量、地名が入って、13部門。

「終巻」は言語（陪名詞、附詞、前置詞、附合詞、動詞）のみで、1部門。

なお、『三語便覧』は本来、縦組みのものであり、仏単語の右側には、発音記号を示すカナ文字が付されているが、ここでは直接関係がないので、省略した。さらに、同単語にはオルトグラフ（綴字記号）が欠落しているが、他の参考辞書との関連から、筆者が加えたことを付記するものである。

2) 『佛語明要』（『明要』と略す）

この字書も村上英俊の著作であり、我国で最初の本格的な佛和字書と言われている。西洋式にアルファベットの順序に従って、単語配列がなされたものである。

黄色表紙の左袋綴の四冊本であり、その寸法は縦25.7センチ×横18センチ。題籤は各々、「佛語明要 一（二、三、四）」と墨書されている。

見返しには、「元治元年稟准、村上英俊著、佛語明要、達理堂蔵」の文字が見られる。そして、白序が3丁、凡例が2丁。

本文は、第1巻の紙数が117丁。第2巻は83丁、第3巻は84丁、最後の第4巻は84丁からなっている。

3) 『官許・佛和辞典』（『好樹堂』と略す）

洋装本（縦21.5センチ×横16.3センチ）。現況では表紙は、くち葉色（背表紙と隅の三角形が黒色）。扉の左側は日本語によって記され、「壽陽、好樹堂譯、官許・佛和辞典、明治4年辛未正月新鐫」とある。

右側はフランス語で書かれ、「Dictionnaire / français-japonais / renfermant / Les principaux mots composés / et / Un grand nombre de locutions. // Changhai : Imprimerie de la mission presbytérienne américaine / 1871」。Préface が1頁。本文、440頁。

4) 『佛和辞典』（『泰山』と略す）

いわゆる袖珍本。洋装で縦18.5センチ×横12.5センチ。現況では、表紙は布製であり、暗い濃鼠色。背表紙（背文字有り）は皮製で茶色。扉には、「高橋泰山訂正、佛和辞典、東京書肆（東崖堂、有則軒）藏梓」と記されている。Préface, 1頁。Abréviations, 1頁。本文は637頁。奥付には、賣捌書林、発兌書林の名が見られ、その他、翻刻人として河井源藏（東京府平民）、同じく富田彦次郎（岐阜縣士族）と書かれている。明治19年3月19日翻刻御届、同明治19年9月出版。定價金三圓と朱印。

5) 『佛和辞林』（『辞林』と略す）

手持ちのものは仮表装であり、背表紙に「佛和辞林、全、中江篤介」なる文字が見られる。序言が2頁、Explication des abréviations が1頁、日本語の表語略が1頁。本文、1290頁。

奥付には、発賣所、丸善書店、版權所有者、鈴木義宗。著作者兼発行者、野村泰享。そして著作者、中江篤介とある。明治26年12月28日発行。定價金三圓五十錢。

6) 『佛和會話大辞典』（『大辞典』と略す）

大型の洋装本（縦25.7センチ×横18センチ）。表紙はワインレッド色であり、背表紙には文字有り。扉には、「公教宣教師・エ・ラゲ，高等学校講師・小野藤太，共編，佛和會話大辞典，明治38年8月刊行」と，墨書されている。

Préface, 2頁。Table des matières de l'abrégé de grammaire japonaise, 2頁。同 Introduction (p.1~p.2)。同じく, Chapitre I ~ Chapitre XII (p.2~p.78)。その他, 日本佛蘭西度量衡比較表, 1頁。Explication des principales abréviations et des signes, 2頁。本文は, 1080頁。さらに, Additions et corrections が, 4頁。

奥付には, 発行所, 天主教會。発行者, 公教宣教師・エ・ラゲ, 高等学校講師・小野藤太, 明治38年7月15日発行, 定價金拾圓, 等の文字が記されている。次頁に, 賣捌所名が1頁。

7) 『増訂・新佛和辞典』(『新佛和』と略す)

袖珍本。洋装(縦15.3センチ×横10センチ)であり, 表紙は紺色(表紙と背表紙に文字有り)。扉には, 「野邨泰享著, 中澤文三郎, 阿部 漸補助, 粕川信親, 佐野 尚校正。増訂・新佛和辞典, 東京・大倉書店発行」とある。

例言が2頁。原字略字解が1頁, 同じく, 譯語略字解, 1頁。本文, 1187頁。^(ママ)Loctions de la langue française として, 120頁。奥付には, 明治43年10月1日発行。著作者, 野村泰享。発行所, 大倉書店等の文字が見られる。正價金貳圓貳拾錢。

岩	石	軽石	細砂	粗砂	砂	物	地球		
granite	stone	light stone	fine sand	coarse sand	sand	object	globe	地理	佛蘭西語
								英傑列語	
								和蘭語	

『三語便覧』の本文



『佛語明要』の扉

寄陽 好樹堂譯

官許 佛和辭典

明治四年辛未正月新鐫

『官許・佛和辭典』の扉

高橋泰山訂正

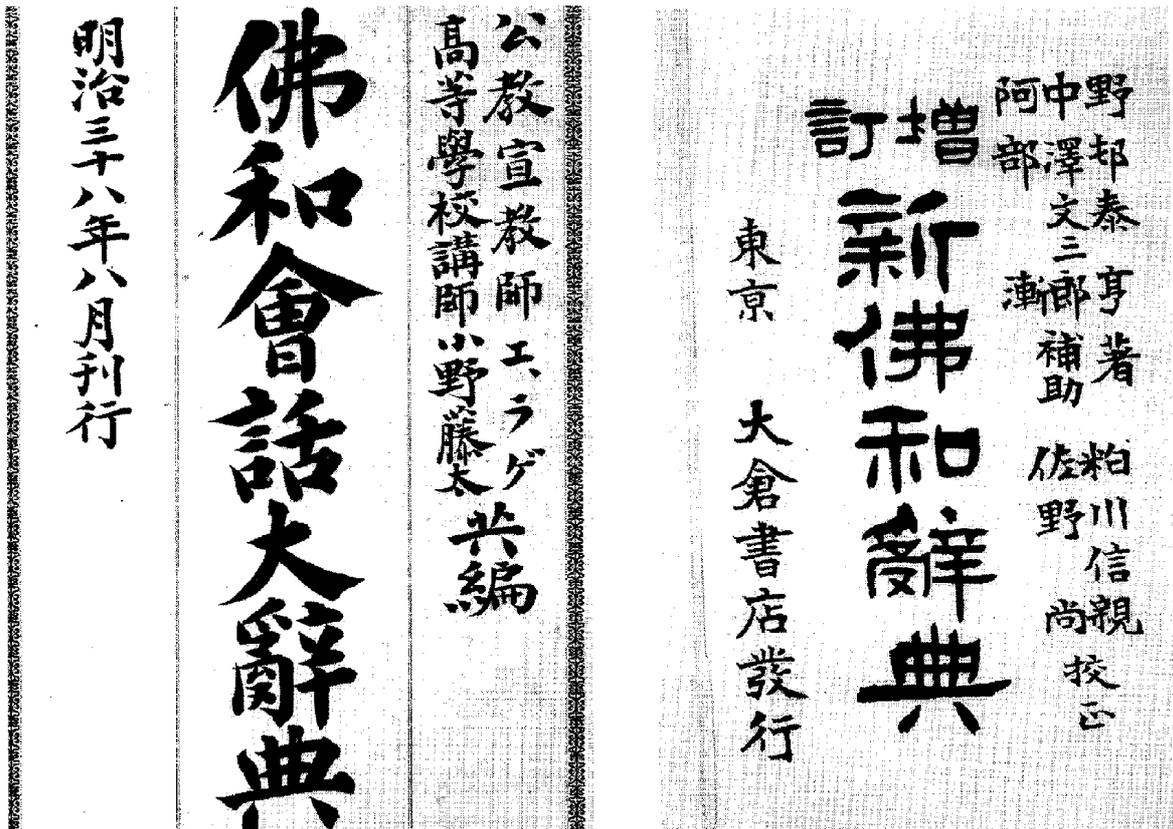
佛和辭典

東京書肆 東崖堂 有則軒藏梓

『佛和辭典』の扉

INT	683	INT
解カレ、	ノ互斷處(總)	
Interregne, s. m. 缺位ノ間(國王又國君ノ)代王又代管理官ノ職(羅馬ノ)	ligue d'— ou — 互斷條	
Interrogant, ante, adj. 疑問ノ(文)疑問條ノ	Interstice, s. m. 孔。隙(物)。間時	
Interrogateur, trice, s. m. et f. 疑問者。審問者。詰問者。省察者	Interstropical, s. m. 赤道間ノ。黃道地方ノ。道間ニ來ル所ノ	
Interrogatif, ive, adj. 疑問ノ(文)	Intervalle, s. m. 間(物)。距離。音程(音)。時間。費時。終結。身分不齊。間隔(陸)	
Interrogation, s. f. 詰問。疑問ノ語法	par intervalles 時ヲ經テ。某時ヨリ某時ニ至ルマテ。時々。bon — ou — lucide 衰。瀕ノ疑問。ligne à intervalles 線不徒(陸)	
point d'— 疑問點(文)	Intervenant, ante, adj. 間ニ來ル所ノ。間ニ起ル所ノ。中ニ到ル所ノ。所件ニ入ル所ノ。加入スル所ノ	
Interrogatoire, s. m. 詰問。審察ノ乳問證書	—, sub. 新然加入者	
— sur faits et articles 事實審問	Intervenir, v. a. 加入スル。間ニ來ル。起ル。伸張スル。干渉スル。立入ル(法)。	
Interroger, v. a. 訊問スル。乳問スル。疑問スル。考究スル。詰問スル。省察スル	Intervention, s. f. 干渉。交際。仲裁。加入。立入ル	
—, v. r. 相問フ。考究サル。詰問サル	Intervention, s. f. 混亂。顛倒	
Interroi, s. m. 羅馬ノ代王又代管理官	Intervestir, v. a. 變スル(物)。轉換スル。顛倒スル。混亂スル	
Interrompre, v. a. 中斷スル。中絶スル。中止スル。停止スル	Interversion, s. m. 顛倒。變向。混亂。顛倒	
— quelque'un. 某人ノ事業ヲ中止スル	Intestat, adj. 遺棄無テ	
—, v. r. 斷スル。中止スル。中止サル。自ラ事ヲ止ムル。自ラ能ヲ止ムル。互ニ能ヲ止ムル	mourir, décéder — 遺棄無テ死スル(法)。	
Interrompu, ue, adj. 斷テタル	—, hâbler ab — 無遺棄ノ死者相繼グ	
propos — 連續セタル能。問答條	Intestin, s. m. 腸。腸腑	
Interrupteur, s. m. 談話ヲ斷テ入	Intestin, s. m. 腸。腸腑ノ内部ノ。腸内ノ。心中ノ	
Interrupteur, trice, adj. 中絶スル所ノ。遮斷スル所ノ	Intestinal, s. m. 腸ノ(解)	
Interruption, s. f. 中絶。中斷。中止。入ノ談話ヲ斷テ入ノ談話ヲ遮斷スル能。談話中斷ノ語法(前) — civile 變時効ノ中斷(法)	Intuition, s. f. 直覺。直覺。認識(法)	
	Intime, adj. 奥ノ。内ノ。本質ノ。腸体内ノ。分子内ノ(如及ニ花)。	

『佛和辭林』の本文



『佛和會話大辭典』の扉

『増訂・新佛和辭典』の扉

Ⅲ. 訳語の変遷

ここで、実際の例を述べることになるが、研究資料として、どのような種類の単語に焦点を合わせたらよいか、仲々決めかねた。

しかしながら、試行錯誤の結果、やはり人間の性状に関する単語が、最も変化にとむことが、明らかとなった。

そこで、『三語便覧』の「徳不徳」の部から、単語を選んで中心の題材に据えた。それに他の辞書（の単語）を対比させた結果は、以下の通りとなる。

なお、各辞書の単語間の区切りには、色々あって（,。.), 記述上不便なので、(,) の記号で統一したことを、付記するものである。

affection⁽³⁾

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 『三語』 | 好嗜 (スキ) |
| 『明要』 | 愛 |
| 『好樹堂』 | 寵愛 |
| 『泰山』 | 恩愛 |
| 『辞林』 | 感情, 愛情, 痛苦, 病苦 |
| 『大辞林』 | 1. 感じ 2. 愛情, 情愛 3. 疾病 ⁽⁴⁾ |
| 『新佛和』 | 1. 疾病 2. 感動 3. 愛情, 親愛 |

ambition

- | | |
|------|---------|
| 『三語』 | 驕 (ヲゴリ) |
|------|---------|

『明要』	久ク待ツヲ, 高位ヲ欲フルヲ
『好樹堂』	拔扈, 大望
『泰山』	拔扈, 大望
『辞林』	熱望, 欲望, 大志, 非望, 大望
『大辞林』	大望, 功名心
『新佛和』	1. 野心, 大望 2. 目的, 計画

amitié

『三語』	交情 (マジワリ)
『明要』	懇, 好き, 恵, 楽ミ, 行儀ヨキヲ
『好樹堂』	友情, 愛
『泰山』	友情, 愛
『辞林』	友情, 親愛, 恩愛, 和睦, 愛セラル、者, 恩恵, 施興, 親和 (物)
『大辞林』	1. 友誼, 懇意, 友情—友愛, 親交, 和親 2. 愛
『新佛和』	1. 懇親 2. 友愛, 友誼 3. 親睦

ardeur

『三語』	情欲 (インヨク)
『明要』	熱サ, 情欲
『好樹堂』	勉勵, 熱
『泰山』	勉勵, 熱
『辞林』	猛熱, 熱望, 猛烈, 鋭気, 愛慕, 戀愛, 天使, 活発, 熱情
『大辞林』	1. ハゲシキ 2. 熱心, 非常ナ 3. ハリアイ, イキゴミ
『新佛和』	1. 焼熱 2. 勉勵 3. 熱心, 熱情

assiduité

『三語』	厲精 (セイダシ)
『明要』	出精
『好樹堂』	出精
『泰山』	出精
『辞林』	謹慎, 緊密, 勉強
『大辞林』	1. 謹勉, 勉学, 精勤, 几帳面 2. 侍坐
『新佛和』	1. 勤勉, 精勵 2. 注意深きこと

avarice

『三語』	慳吝 (シワサ)
『明要』	吝嗇
『好樹堂』	吝嗇, 我欲
『泰山』	吝嗇, 私欲
『辞林』	貪婪, 吝嗇
『大辞林』	吝嗇, 貪欲, 欲張
『新佛和』	1. 貪欲, 貪婪, 吝嗇 2. 節儉に過ぐること

aveuglement

『三語』	不學 (モンモウ)
『明要』	文盲, 無智
『好樹堂』	盲目
『泰山』	盲目
『辞林』	盲目, 攪乱, 蒙昧, 惑溺
『大辞林』	盲目
『新佛和』	1. 盲目 2. 蒙昧 3. 無謀

bienséance

『三語』	相應 (サウヲウ)
『明要』	似合, 相應, 都合
『好樹堂』	適當, 相應, 都合ヨキ
『泰山』	適當, 相應, 都合ヨキコト
『辞林』	容儀, 礼式, 正格 (文学), 便宜
『大辞林』	1. 和順, 適合 2. 礼儀, 作法
『新佛和』	1. 礼式, 正格 2. 便宜

bienfaisance

『三語』	仁恵 (イツクシミ)
『明要』	恵深キ
『好樹堂』	仁恵
『泰山』	仁恵
『辞林』	恵恤, 善業, 徳行
『大辞林』	慈善, 慈恵——慈善事業
『新佛和』	1. 慈善事業 2. 仁恵

brutalité

『三語』	非礼
『明要』	不礼
『好樹堂』	獸心, 押柄
『泰山』	獸心, 押柄, 乱暴
『辞林』	粗暴ナル性質, 猛悪, 暴戾, 強欲, 粗笨, 粗暴ノ動作, 刻薄ノ言語
『大辞林』	1. 暴逆, 猛悪 2. 虐待 3. 悪心
『新佛和』	1. 獸行, 粗暴ノ言行 2. 残忍 3. 虐待 4. 野卑

candeur

『三語』	廉直 (レンチョク)
『明要』	廉直
『好樹堂』	廉直
『泰山』	廉直
『辞林』	廉直, 誠実
『大辞林』	淳朴, 無邪気, 悪気

『新佛和』 廉直, 誠直

cruauté

『三語』 猛悪 (モウアク)

『明要』 固陋, 苛酷

『好樹堂』 残忍, 堅硬

『泰山』 残忍, 堅硬

『辞林』 残酷, 凄惨, 苛刻ノ事

『大辞林』 1. 残酷, 残虐, 残忍, 苛酷 2. 猛悪

『新佛和』 1. 残忍の情 2. 残酷の行為 3. 苛酷

désespoir

『三語』 失望 (ノゾミヲウシナヒ)

『明要』 失望, 氣ノ毒, 心配

『好樹堂』 失望, 悲哀

『泰山』 失望, 悲哀

『辞林』 失望, 失望セシムル者, 優逸ニシテ企及ス可ヲサル者, 必死, 悲痛, 憂憤, 不愉快

『大辞林』 失望

『新佛和』 1. 失望 2. 妄断 3. 悲痛

expérience

『三語』 発明

『明要』 試ミ, 発明

『好樹堂』 練熟, 試験

『泰山』 練熟, 試験

『辞林』 試験, 経験

『大辞林』 1. 試験 2. 實驗 3. 化學

『新佛和』 1. 試験 2. 経験, 実験 3. 実験法

délicatesse

『三語』 選抜 (エラミダシ)

『明要』 柔和, 美味, 伶俐

『好樹堂』 精細, 謹直, 奇麗, 美味

『泰山』 精細, 謹直, 奇麗, 美味

『辞林』 脆弱, 細捷, 用意周匝ナルヲ, 憤激シ易キヲ, 柔情 —— pl. 珍味, 贅品

『大辞林』 1. komaka na koto 2. 優美 3. 趣味 4. bimi 美味, 珍味 5. 微弱, yawaki koto 6. 困難 7. 鋭敏 8. kanji-yasuki koto 9. kimuzukashiki koto

『新佛和』 1. 脆弱, 柔弱 2. 繊細 3. 巧便 4. 精緻 5. 雅趣 6. 気六づかしきこと 7. 慎重 8. 廉耻心 9. 困勤 美味

docilité

『三語』 穎敏 (カシコサ)

『明要』	出精, 伶俐, 領命
『好樹堂』	多才
『泰山』	多才
『辞林』	教へ易キヲ, 教ユヘキヲ, 柔順, 温和, 制御シ易キヲ
『大辞林』	從順, 温和
『新佛和』	1. 柔順, 温和 2. 手工を施し易きこと, 軟きこと

flatterie

『三語』	面從 (ツイシヤウ)
『明要』	追從, 愛
『好樹堂』	追從云フヲ
『泰山』	追從云フヲ
『辞林』	撫摩スルヲ, 諂諛
『大辞林』	hetsurai, kobi [hetsurai], 追從, ten-yu 諂諛
『新佛和』	1. 媚ぶること, 諂諛 2. 過頌

fidélité

『三語』	信誠 (マコト)
『明要』	忠実, 信誠
『好樹堂』	信實, 忠節
『泰山』	信實, 忠節
『辞林』	忠實, 精密, 廉直
『大辞林』	1. 忠, 忠實; 貞節, 操 2. 眞實 3. 正確——辛抱; 正直
『新佛和』	1. 忠實 2. 貞節, 誠實 3. 眞實 4. 正確 5. 精密 6. 堅忍

foi

『三語』	宗旨 (シウシ)
『明要』	信ジ, 赦シ
『好樹堂』	信實, 信用
『泰山』	信實, 信用
『辞林』	信, 確實, 誠信, 信用, 握手形 (徽), 宗旨ノ固信, 証拠, 保証
『大辞林』	忠實 —— 操, 貞節 2. Bonne ——, 善意, 眞心, 誠意, 3. 証拠, 証明 4. 信用 5. 信仰 6. 教理
『新佛和』	1. 信用 2. 証拠 3. 信仰 4. 教理, 宗教 5. 忠實, 誠實, 信實

franchise

『三語』	赤心 (マゴコロ)
『明要』	自由
『好樹堂』	免除 (租税ナトノ), 自由, 廉直
『泰山』	免除 (租税ナトノ), 自由, 廉直
『辞林』	自主, 自由, 免除, 特許, 罪人ノ庇蔭ノ權, 同權ヲ有スル處, 信實, 免税
『大辞林』	1. 独立 2. 免除 3. 澹泊; 正直, 眞實
『新佛和』	1. 免税, 免除 2. 独立 3. 淡泊 4. 誠實 5. 罪人

générosité

- 『三語』 寛仁 (クワンジン)
 『明要』 大度
 『好樹堂』 大膽ナルㇿ
 『叅山』 大様ナルㇿ
 『辞林』 寛仁, 大度, 大量, 豪俠, 仁慈——pl. 贈物, 利徳 (時トシテハ単数ニ用ユ)
 『大辞林』 1. 寛大, 大度 2. 寛仁, 慈仁, 鷹揚 3. ——pl. 多分 no 恵
 『新佛和』 1. 寛大, 大度 2. 慈仁 3. 豪俠——pl. 施與物

gourmandise

- 『三語』 野鄙 (イヤシキ)
 『明要』 賤キㇿ
 『好樹堂』 貪食
 『叅山』 貪食
 『辞林』 饕餮, 美食, 他ヲ害シテ自ラ伸張スルㇿ (樹若クハ枝ノ)
 『大辞林』 1. 貪食 2. 美食
 『新佛和』 1. 貪食 2. 美食

honte

- 『三語』 耻辱 (ハヂ)
 『明要』 耻辱
 『好樹堂』 恥辱
 『叅山』 恥辱
 『辞林』 凄辱, 汚辱, 羞耻, 不名誉
 『大辞林』 1. 耻 2. mottomo hazu / koto wo jiman 自慢 suru
 『新佛和』 1. 汚辱, 恥辱

impatience

- 『三語』 不忍 (シノビヅ)
 『明要』 堪ラレヌㇿ
 『好樹堂』 短気, 堪ヘラレヌㇿ
 『叅山』 短気, 堪ヘラレヌㇿ
 『辞林』 無耐忍, 痛切, 熱心 —— pl. 神經過敏, 痛苦
 『大辞林』 1. 不忍耐, 不勘忍 2. 短気 3. sekkachi
 『新佛和』 1. 不忍耐, 短気 2. 痛切 —— pl. [医] 神經過敏

industrie

- 『三語』 材智 (チエ)
 『明要』 出精, 欺キ, 智巧
 『好樹堂』 才智, 奇巧, 勉強, 事業
 『叅山』 工業, 才智, 奇巧, 勉強, 事業
 『辞林』 智巧, 精巧, 巧妙, 百工, 工技産業, 工芸

- 『大辞林』 1. 巧 2. 策 3. 實業 4. 農業 5. 工業
 『新佛和』 1. 工技 2. 方策, 計策 3. 實業, 産業, 生業 4. 工業 5. 狡智

innocence

- 『三語』 不辜 (ツミノナイ)
 『明要』 無罪, アドケナサ
 『好樹堂』 無罪, 道理ノ立テ居ル
 『泰山』 無罪, 道理ノ立テ居ル
 『辞林』 無害, 清浄, 無罪, 淡泊, 無邪氣, 純樸
 『大辞林』 1. 無罪, tsumi no nai koto 境涯 2. 清浄, 潔白 3. 無邪氣, 悪氣 4.
 ——無失
 『新佛和』 1. 無邪氣 2. 無罪 3. 潔白 4. 素朴, 於人よし

légèreté

- 『三語』 輕脫 (カルハヅミ)
 『明要』 輕サ, 容易, 輕ハヅミナル
 『好樹堂』 輕薄, 神速ナル, 放蕩ナル
 『泰山』 輕薄, 神速ナル, 放蕩ナル
 『辞林』 輕キ, 輕捷, 自在ナル, 輕易, 輕跳, 輕薄, 變動シ易キ, 不注意, 輕忽,
 平易, 小過
 『大辞林』 1. karui koto, karusa 2. hayai koto 3. kigawari, kigaru 4. 輕卒 5.
 輕微
 『新佛和』 1. 輕きこと 2. 輕捷 3. 輕佻, 輕薄, 浮薄 4. 輕卒 5. 些少 6. 平
 易 (文章の) 7. 洒落

liberté

- 『三語』 自在 (ジザイ)
 『明要』 自由, 物ニ恐レヌ
 『好樹堂』 自由, 容易
 『泰山』 自由, 容易
 『辞林』 自主, 自由, 自在, 自由ノ權 (理), 不羈獨立, 磊落, 開濶, 宥免, 賜蝦, 輕快,
 親狎 —— pl. 免税
 『大辞林』 1. 自由 2. 解放
 『新佛和』 1. 自由 2. 解放 3. 不羈獨立 4. 自主自由 5. 無遠慮, 親狎 6. 古
 羅馬人の比喩的神靈 —— pl. 免税特權 (自治邑等の)

moralité

- 『三語』 禮法 (ギャウギョサ)
 『明要』 作法
 『好樹堂』 禮式
 『泰山』 禮式, 德儀
 『辞林』 道心, 教訓ノ微旨, 佛国古代教訓ノ詩, 善惡ノ弁別, 善惡 (思想行為ノ), 善良
 —— pl. 古代ノ劇曲

- 『大辞林』 1. yoshi-ashi, 善悪 2. 道心, 道念 3. 教訓 4. 行状
 『新佛和』 1. 教訓 2. 道心, 道念 3. 道德 4. 品行 5. 勸善寓意喜劇 (中古の)
 6. 善悪

orguil

- 『三語』 倨傲 (ヲ、ヘイ)
 『明要』 傲慢, 高ブリ
 『好樹堂』 高慢, 押柄
 『泰山』 高慢, 押柄
 『辞林』 傲慢, 自尊ノ情, 自任ノ心, 倨傲, 虚飾, 華麗
 『大辞林』 1. 傲慢, 高慢 2. 自尊
 『新佛和』 1. 傲慢 2. 自尊心

pauvreté

- 『三語』 赤貧 (ビンボウ)
 『明要』 貧乏
 『好樹堂』 困窮, 愚, 下賤
 『泰山』 困窮, 愚, 下賤
 『辞林』 貧, 困乏, 拙陋, 卑陋 —— pl. 鄙劣の言行
 『大辞林』 貧〔窮〕, 貧困, 貧乏
 『新佛和』 1. 貧困, 貧乏 2. 清貧 3. 浅はかなること 4. 浅薄

prodigalité

- 『三語』 枉費 (ムダヅカヒ)
 『明要』 (prodigalement, adv. 過分ニ費シテ), 同上ノㇿ
 『好樹堂』 放逸
 『泰山』 放逸
 『辞林』 浪費, 浪費スルㇿ —— pl. 贅澤, 放逸
 『大辞林』 浪費
 『新佛和』 浪費 —— pl. 1. 放蕩 2. 冗費

promptitude

- 『三語』 好仕 (ツトメズキ)
 『明要』 (promht, e, adj. 手早キ, 速ナル), 同上ノㇿ
 『好樹堂』 神速, 性急, 怒り
 『泰山』 神速, 性急, 怒り
 『辞林』 迅速, 敏捷, 性急, 焦躁
 『大辞林』 迅速; 敏速
 『新佛和』 1. 敏捷 2. 性急 3. 迅速

sagacité

- 『三語』 秀才 (スグレタル リコウ)
 『明要』 材智, 穎敏

『好樹堂』	鋭敏, 材智
『泰山』	鋭敏, 材智
『辞林』	嗅官ノ鋭キヲ, 鋭敏
『大辞林』	鋭敏, 伶俐
『新佛和』	鋭敏, 伶俐, 聰慧

sobriété

『三語』	節飲食 (ノミクヒノホドヨサ)
『明要』	下戸, 程好サ
『好樹堂』	賢コキヲ, 節スルヲ
『泰山』	賢コキヲ, 節スルヲ
『辞林』	飲食ヲ節スルヲ, 淡泊, 謹慎
『大辞林』	1. 節制, 節食 2. 簡古
『新佛和』	1. 節食, 節酒 2. 節制 3. 淡泊

vertu

『三語』	徳 (トク)
『明要』	徳, 力, 丈夫
『好樹堂』	徳, 貞節, 正直, 力
『泰山』	徳, 貞節, 正直, 力
『辞林』	徳, 勇氣, 仁慈, 有徳者, 貞節, 効力
『大辞林』	1. 徳; 徳義, 道德, 道義 2. 効, 効能
『新佛和』	1. [古] 勇氣 2. 徳 3. 徳義心 4. 貞操, 貞節 5. 効力, 効能

vice

『三語』	不徳 (フトク)
『明要』	亓ノ缺, 不十分, 不徳
『好樹堂』	不徳, 欠乏, 過失, 放蕩
『泰山』	不徳, 欠乏, 過失, 放蕩
『辞林』	弊, 欠損, 悪弊, 不徳, 邪行, 放蕩, 缺點, 悪習, 短處, 悪癖, 瑕疵弊害, 不徳者
『大辞林』	1. 缺點, 短處 2. 違法 3. 悪 4. 悪徳 5. 放蕩, 不行跡, 不身持 6. 副
『新佛和』	1. 短處, 缺點, 瑕疵 2. 不法, 違法 3. 不徳, 悪徳 4. 放逸 5. 悪人

- (1) 調査に際しては、古河歴史博物館所蔵本を使用した。なお、この間の事情を物語る小稿を、同館の紀要・『泉石』に発表した(2004年刊行の予定)。
- (2) 和綴本については、特に洋装の辞書と区別して、字書という字を用いた。
- (3) フランス語の単語の順序は、必ずしもアルファベットの順ではなく、『三語便覧』の構成に従って、配置した。
- (4) この辞書には例文が数多く用いられているが、本稿の主題通りに、単独の訳語のみを記載したことを、付記する。